

83rd

Business Report

第83期 株主通信

▶ 令和5年4月1日～令和6年3月31日

 **名工建設株式会社**

証券コード：1869

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第83期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の決算が確定いたしましたので、事業の概況と業績につきまして、ご報告させていただきます。

当連結会計年度における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が緩やかに進む中、日経平均株価が史上最高値を34年ぶりに更新し、日銀がマイナス金利政策を解除するなど、金融市場の持ち直しが続いている一方で、高インフレや海外経済の減速による後退懸念などにより依然として景気を取り巻く環境は厳しく、先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界においては、堅調な公共投資と共に、コロナ禍で落ち込んでいた民間設備投資も持ち直しの動きがみられますが、建設コストの上昇による影響、担い手の確保や長時間労働の解消などへの対応が急務となっており、企業業績への好材料は限定的と言わざるを得ない状況にあります。

当連結会計年度における当社グループの業績は、受注高は前期比0.1%増の95,776百万円、売上高は前期比2.4%増の86,218百万円となりました。利益面では、経常利益は前期比13.2%減の5,820百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比13.5%減の4,028百万円となりました。

今後とも社会基盤の発展を支える企業としての責務を自覚し、「安全・信頼」を大切に事業に邁進することで、一層の企業価値向上に努めてまいります。

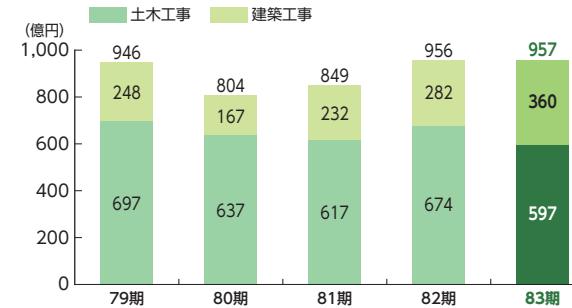
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



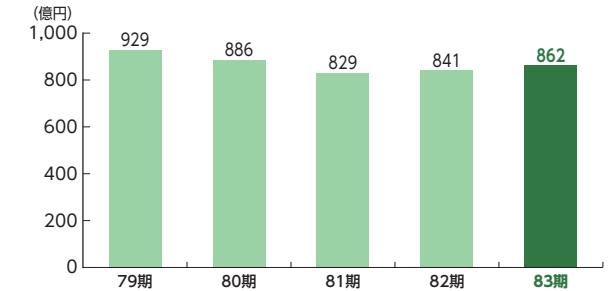
代表取締役社長
松野 篤二

連結業績ハイライト

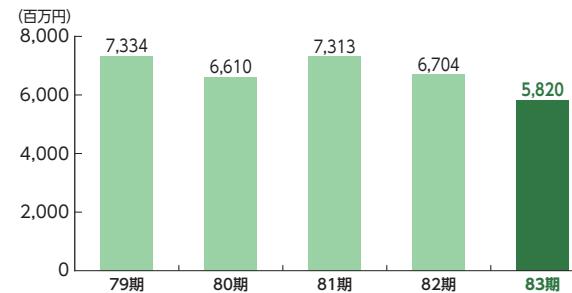
●受注高



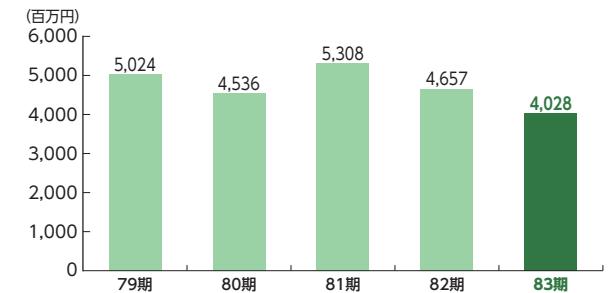
●売上高



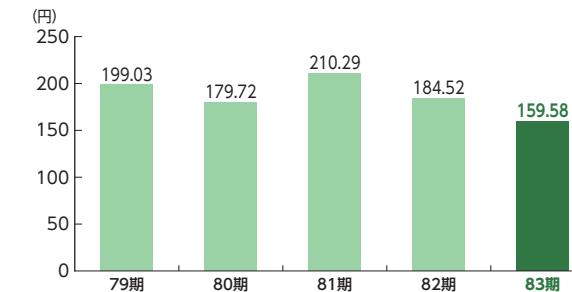
●経常利益



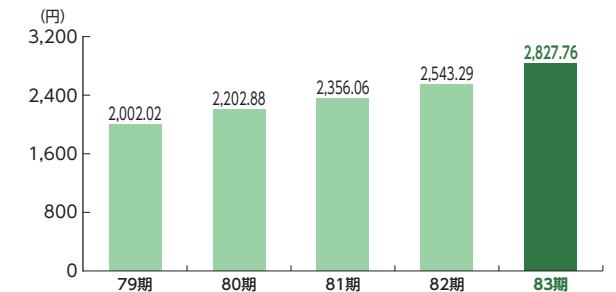
●親会社株主に帰属する当期純利益



●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



■配当について

当社は安定収益を確保して、株主資本の充実や設備投資に備えた内部留保を行いながら、安定配当を行うことを基本方針としておりますが、当社グループの当期の業績や今後の事業展開を総合的に勘案し、1株当たりの配当は年36円と増配することにいたします。

当期の期末配当は令和6年6月4日を配当支払い開始日として1株当たり19円とし、中間・期末合計で年36円の配当を実施いたしました。

主な部門別の概況

土木部門

受注高

59,716百万円 前期比 **11.5%**減

売上高

60,934百万円 前期比 **0.4%**減

- 受注高につきましては、官公庁工事は増加しましたが、民間工事が減少し、前期比7,731百万円（11.5%）減の59,716百万円となりました。
- 売上高につきましては、民間工事は増加しましたが、官公庁工事が減少し、前期比258百万円（0.4%）減の60,934百万円となりました。

当期の主な完成工事



東海環状自動車道 柿田高架橋（下部工）工事



飯田線一宮Bo新設



石神井川整備工事（新柳橋上下流右岸）



北陸新幹線、福井軌道敷設他

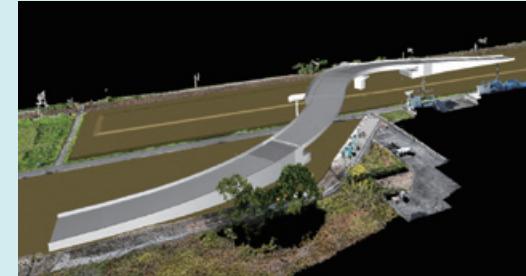
Topics

沼津駅付近鉄道高架事業への取り組み

静岡県と沼津市が事業主体となって進められている沼津駅周辺総合整備事業の中核となる鉄道高架事業において、当社は東海旅客鉄道（株）、日本貨物鉄道（株）、沼津市から新貨物ターミナル新設に伴う路盤工事や軌道工事など複数件の工事を受注しております。現在は、土木部門において本体工事を安全・確実に施工するため、薬液注入による地盤改良工や鋼矢板打設による土留め工等の仮設工事を進めております。

長期間にわたる大型プロジェクトであり、今後も様々な事業関連工事の発注が見込まれております。当社では、全社が一丸となって現在の工事を安全最優先で施工していくとともに、本事業へ積極的に参画し、工事を通して地域の発展に貢献してまいります。

●新貨物ターミナル高架橋完成イメージ



●施工状況



地盤改良状況



鋼矢板圧入状況

主な部門別の概況

建築部門

受注高

36,059百万円 前期比 **27.7%**増 

売上高

24,147百万円 前期比 **11.6%**増 

- 受注高につきましては、官公庁工事・民間工事ともに増加し、前期比7,817百万円（27.7%）増の36,059百万円となりました。
- 売上高につきましては、前期より民間工事における繰越額が豊富であったことから、前期比2,516百万円（11.6%）増の24,147百万円となりました。

当期の主な完成工事



名古屋新場外馬券発売所建築工事



(仮称) 中村区椿町計画新築工事



(仮称) 名古屋市中村区亀島一丁目計画新築工事

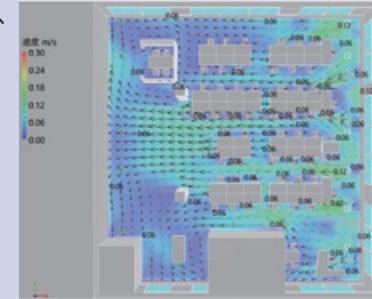


(仮称) 都留サロンプロジェクト

Topics 1

「流体解析」による快適な室内環境の提供

当社では、設計計画段階において、BIMモデルを用いた流体解析ソフトを使用して、室内気流等の解析を行っております。室内の空気の流れを数値的に予測することにより、建物内部の気流や温度分布、換気効率などを評価できます。これにより、より良い室内環境の提供、効率的な空調換気方式の提案をしています。



設計計画



竣工写真

Topics 2

日本最大級異業種交流展示会 「メッセナゴヤ2023」へ出展

令和5年11月8日（水）～11月10日（金）に開催された日本最大級異業種交流展示会「メッセナゴヤ2023」へ出展しました。当社の技術である開放型耐震補強「SMIC工法」のほか、環境配慮やSDGsへの取り組みとした「ウェルネスオフィス」、環境対応技術「ZEB」などを紹介しました。

当社ブースには企業関係者のほか、建築を学ぶ学生など多くの方に来訪していただき、当社技術をPRしました。

今後もこれまで培った技術力とノウハウを生かし、新規顧客の開拓と引き続き技術開発を進めてまいります。

※ウェルネスオフィスとは：オフィスでの従業員の生産性向上や、創造性・心の健康の向上につながる、オフィス空間のかたち



経営計画

令和3年4月よりスタートした当社の中期経営計画「第18次経営計画」は令和6年3月に終わりを迎えました。今回は第18次経営計画の成果と、令和6年度より新たにスタートした「第19次経営計画」の目標についてご紹介いたします。

I. 「第18次経営計画（令和3年度～令和5年度）を振り返って」

第18次経営計画の期間は、コロナによる経済活動の停滞、世界情勢の緊迫による物価上昇など、決して明るい材料ばかりではありませんでしたが、社業は順調に推移し、売上高・利益ともに計画を上回りました。安全面に関しては、引き続き安全を最優先に行動する文化のさらなる醸成と浸透を図りました。

【第18次経営計画（令和3年度～令和5年度）概要】

- ◎スローガン 「3Cイノベーション」
- ◎経営目標 「信頼 (Confidence)」 安全・品質の追求と社会的責務の遂行
「競争力 (Competitiveness)」 低コストで顧客の多様なニーズに対応
「実行力 (Capability)」 変化を乗り越える技術力と機動力の発揮
- ◎数値目標
 - ・ 重大な労働災害・運転事故 ゼロ
 - ・ 受注高 800億円以上
 - ・ 売上高 800億円以上
 - ・ 経常利益率 4.0%

(単位：百万円)		1年目 令和3年度 (第81期)	2年目 令和4年度 (第82期)	3年目 令和5年度 (第83期)
実績	受注高	84,973	95,690	95,776
	売上高	82,957	84,185	86,218
	営業利益 (率)	7,011 (8.5%)	6,331 (7.5%)	5,370 (6.2%)
	経常利益 (率)	7,313 (8.8%)	6,704 (8.0%)	5,820 (6.8%)
主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東海道本線刈谷駅改良ほか 受注 ・ 新湘南バイパス 西久保高架橋西鋼橋耐震補強工事 受注 ・ 紀勢本線熊野川B橋脚基礎補強 完成 ・ 樽見鉄道樽見線 美江寺駅～北方真桑駅間 (9km600m付近) 単独立体交差工事 完成 ・ 新幹線脱線逸脱防止対策工事、激震地区 (静岡・掛川地区) 完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大和北道路 大江第一高架橋他4橋 (下部工) 工事 受注 ・ (仮称) 富山事業所庄川工場新工場及び立体倉庫建設工事 受注 ・ 名古屋新場外馬券発売所建築工事 受注 ・ 東海道本線柱町Bv新設 完成 ・ 畜産総合センター種鶏場整備建設工事 完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東山公園テニスセンターセンターコート改築その他工事 (CCUS活用推奨) 受注 ・ 沼津高架新貨物駅部路盤新設ほか 受注 ・ 沼津高架新貨物駅部軌道新設ほか 受注 ・ 北陸新幹線、福井軌道敷設他 完成 ・ 新幹線大規模改修工事、静岡・米原地区トンネル部 完成 	

II. 「第19次経営計画（令和6年度～令和8年度）について」

第18次経営計画で“3Cイノベーション”として取り組んできた、

信頼 Confidence	競争力 Competitiveness	実行力 Capability
にさらに磨きをかけ第19次経営計画ではこの「3C」に、新たに		
挑戦 Challenge	を加えた「4C」を経営目標とし、	



スローガン 『挑戦、未来へ 4つのC』

を掲げ、全社をあげて目標達成に向け新たな成長に挑戦していきます。

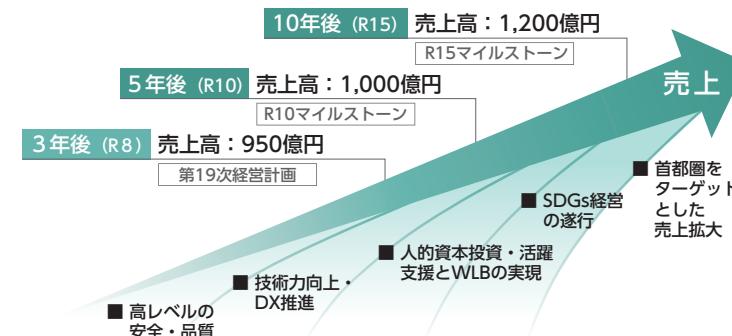
第19次経営計画では、これまでの実績を踏まえ、新たな成長を前提とした挑戦をしていくことを考えています。受注・売上高の拡大も、ただ受注件数を増やすだけではなく、利益額の確保にも拘っていきます。

経営目標としては、「安全第一」「コンプライアンス」といった経営基盤となる『信頼』を堅持しつつ、顧客や社会のニーズに応える『競争力』と、変化を乗り越える『実行力』をもって、未来に夢と希望を託せる企業を目指し、そしてさらなる社業の発展による社会貢献の実現に『挑戦』していきます。

第19次経営計画 《計画最終年度 (R8) の数値目標》

受注高	950億円
売上高	950億円
営業利益額	60億円

5～10年後のマイルストーン



研修施設建設計画

当社は目指す企業像として「安全と技術の名工」を掲げており、これまで培った安全・技術を将来にわたり高いレベルで提供するためには、人材育成が重要と考えております。その人材育成にさらに磨きをかけるべく、新たな研修施設を建設することといたしました。

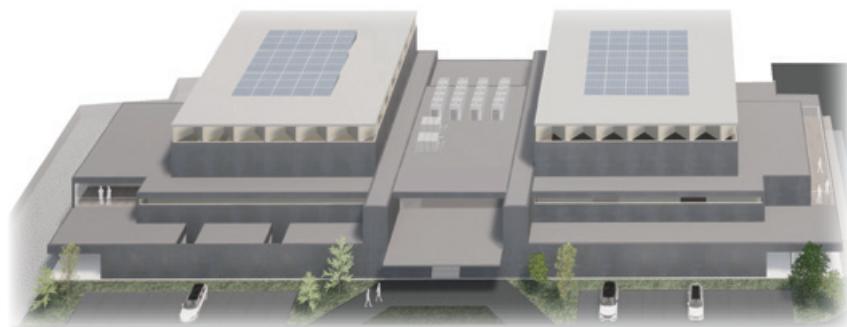
当施設では宿泊施設を備えるほか、机上の知識だけでなく「現場と同じ環境で学ぶ」「実際の現場では経験できない失敗を通して学ぶ」ことが重要との考えから、実際の線路や土木・建築構造物を模擬した設備等を整備し、見て触れる体験ができるように計画しております。

令和8年度からの施設使用開始にむけて計画を推進してまいりますので、今後皆様にも適宜、進捗状況等をお伝えしてまいります。

施設概要

所在：愛知県春日井市高蔵寺 土地面積：25,663.96㎡ 使用開始：令和8年度（予定）

建設予定施設：実習棟、生活棟、実習線、機材倉庫



実習棟イメージ



テラスラウンジイメージ

※イメージは現時点のものであり、変更となる場合があります。

会社概要

会社概要

商号	名工建設株式会社
英文商号	MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.
設立	昭和16年6月28日
資本金	15億9,450万円
従業員数 (連結)	1,248名 (令和6年3月31日現在)
本店所在地	名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ34階
支店・営業所	東京支店・静岡支店・甲府支店・名古屋支店・ 大阪支店・北陸支店

株式の状況 (令和6年3月31日現在)

発行済株式の総数	株主総数	
27,060千株	1,920名	
大株主		
株主名	持株数 (単位：千株)	持株比率 (単位：%)
東海旅客鉄道株式会社	2,139	8.48
名工建設社員持株会	1,757	6.96
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	4.75
株式会社りそな銀行	948	3.76
株式会社北陸銀行	913	3.62
株式会社みずほ銀行	806	3.20
東鉄工業株式会社	524	2.08
日本生命保険相互会社	511	2.02
興和株式会社	500	1.98
東邦瓦斯株式会社	500	1.98

※自己株式(1,816千株)を除く

取締役及び監査役

(令和6年6月25日現在)

代表取締役社長	松野 篤二
取締役	奥村 由政
取締役	落合 弘
取締役	高松 一郎
取締役	出口 彰
取締役	川越 正啓
取締役	村松 浩成 ※
取締役	丹羽 慎治
取締役	前川 宏一 ※
常勤監査役	堀場太民夫
常勤監査役	松永 靖 ※
監査役	内藤 雄順
監査役	山田 淳 ※

※印は、第83回定時株主総会で新たに選任された役員です。

ホームページのご案内

ホームページにて当社の企業情報を随時公開しております。施工実績、技術紹介など各種情報のほか、IR情報のページでは決算短信などもご覧いただけます。

<https://www.meikokensetsu.co.jp/>

名工建設

検索



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載URL https://www.meikokensetsu.co.jp/ir/koukoku

お知らせ

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ34階
電話 052-589-1501



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

